

# 独り暮らしの高齢者を狙う次々販売に気をつけて

2015年2月15日号

独り暮らしの高齢者を狙う色々な訪問販売手口があります。床下を無料点検してあげると言って訪問し、「湿気が多くカビが生えている。このままでは家が腐る」と不安をあおり契約させ、その後も床下換気扇、布団、浄水器などの業者が次々に訪れ、不要な商品売りつけます。

近頃は、過去に原野商法の被害に遭った人に、その土地が高く売れると持ちかけ測量費用を請求し、新たな土地の購入を勧めるなど巧妙な手口も多発しています。

一度被害に遭うとカモリスト(被害に遭った人の名簿)に載り、次々と業者が訪れ、大きな被害になります。また、高齢者は騙されたとわかって自分が悪い、自分さえ我慢すればと人に話すことを嫌う傾向があります。独り暮らしや、日中一人で留守番をしている時が狙われやすく、高齢者宅の人たちや地域のみなさんの日ごろからのコミュニケーションが被害の拡大を未然に防ぎます。